

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	一般社団法人日本テレマン協会
公演団体名	テレマン室内オーケストラ

内容
<p>【内容】</p> <p>①観賞指導 最初に本公演でお聴きいただくバロック音楽の魅力やその概要を理解して頂くために、バロック音楽がクラシック音楽の中でどういったポジションを占めるのか、18世紀当時はどういったものであったかということ説明いたします。その際、同行しております楽器奏者(チェロ奏者など)から楽器についての説明もいたします。また、実際の演奏の様子を当団作成のDVDを使用しつつご紹介いたします。</p> <p>②ミニコンサート 歌手と楽器奏者によるミニコンサートを実施致します。</p> <p>③歌唱指導 共演予定の演目の歌唱指導をさせていただきます。この時に前奏・間奏・後奏の有無、繰り返しの有無などの他、事前に開催校から取り寄せた楽譜と実際の演奏における細かな差を記録し、後日編曲者に報告します。児童・生徒の皆様には「いつも通り」の伴奏が室内オーケストラ版になった状態で共演して頂くためです。</p> <p>④バロックダンス指導 本公演の体験プログラムで実施予定のバロックダンスについて、「メヌエット」のステップについてご説明し、楽器奏者のメヌエットの演奏に合わせてダンスの練習をいたします。</p> <p>【備考】 参加者の人数に応じて、体育館や音楽室を使用して実施いたします。また、ワークショップの内容に直接的には参加しませんが、本公演での共演をより円滑に進めるために、ワークショップの様子を観察・分析・記録をする補助者が一名参加します。また、その他の細かな状況については、補助者から事務局を経て、整理された情報が演奏者に伝えられます。</p>

タイムスケジュール (標準)
WS30分~1時間前に到着→WS(2時間)→本公演に向けてのお打ち合わせ(30分程度)

派遣者数
合計(2名) 指導者(1名) 器楽奏者 及び 補助者(1名)

学校における事前指導
ワークショップ実施までに音楽の授業等で共演予定曲をある程度ご指導いただけましたら幸いです。また、それ以外の内容をワークショップで行う学校も、同様の下準備的指導をしていただければ幸いです。ワークショップ時に特別に留意すべき点やご希望があればお知らせ頂けますようお願いいたします。

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	一般社団法人日本テレマン協会
公演団体名	テレマン室内オーケストラ

演目

- ◆G.Ph.テレマン:組曲 ニ長調 TWV55:D18 第1曲「序曲」
- ◆弦楽器のお話
 - ・ヴァイオリン － A.ヴィヴァルディ:「四季」より「春」第1楽章
 - ・**体験プログラム**クイズコーナー － 「四季」にはどんな情景が描かれているのか？
 - ・ヴィオラ － G.Ph.テレマン:ヴィオラ協奏曲 第2楽章
 - ・チェロとコントラバス － A.ヴィヴァルディ:チェロ・ソナタ 第2楽章
 - ・弦楽合奏 － J.S.バッハ:管弦楽組曲 第3番 第2曲「エア」
 - ・**体験プログラム**ヴァイオリンを弾いてみよう！ － J.S.バッハ:ガヴオット ト長調
- ◆チェンバロのお話
 - ・J.S.バッハ:インヴェンション 第1番 ハ長調
- ◆**体験プログラム**バロックダンスのコーナー～メヌエットを踊ってみよう！～
 - ・G.F.ヘンデル:水上の音楽 第2組曲「メヌエット」
- ◆G.Ph.テレマン:組曲 ニ長調 TWV55:D18 第3曲「ロンド形式のガヴオット」
- － 休憩 －
- ◆金管楽器と打楽器のお話
 - ・G.Ph.テレマン:組曲 ニ長調 TWV55:D18 第4曲「パッサカイユ」
- ◆歌のコーナー
 - ・G.F.ヘンデル:オンブラ・マイ・フ
- ◆**体験プログラム**共演のコーナー(ご希望の合唱曲)
- ◆木管楽器のお話
 - ・オーボエとファゴット － G.F.ヘンデル:2つのオーボエとファゴットのための行進曲
J.S.バッハ:管弦楽組曲 第1番 第7曲「パスピエ」
 - ・リコーダー － G.Ph.テレマン:四声部のための協奏曲 ト長調 第1楽章
A.ヴァルディ:リコーダー協奏曲 RV445 第3楽章
(または G.Ph.テレマン:リコーダー協奏曲 ヘ長調 第2楽章)
- ◆**体験プログラム**指揮体験コーナー
 - ・G.F.ヘンデル:組曲 変ロ長調 HWV352 第3曲「アルマンド」
- ◆G.Ph.テレマン:組曲 ニ長調 TWV55:D18 第7曲「ファンファーレ」

公演時間(90分)

派遣者数

出演者: 21名 スタッフ: 2名 合計: 23名

タイムスケジュール(標準)

8	9	10	11	12	13	14	15	16
	搬入	リハーサル			開演		終演	撤去・退館

実施校への協力依頼人員

楽器運搬車にてチェンバロを搬入致しますので、ご担当者様に校門から駐車スペースまでご誘導頂ければ幸いです。

演目解説

G.Ph.テレマン:組曲 ニ長調 TWV55:D18

第1曲「序曲」、第3曲「ロンド形式のガヴォット」、第4曲「パッサカイユ」、第7曲「ファンファーレ」

18世紀当時、バッハを凌ぐ名声を誇り、5000曲以上作曲したといわれる作曲家、テレマン。バッハよりもバロック時代の「スタンダード」と言える作品を多く書いており、随所に聴き手を惹きつける仕掛けが施された「楽しさ」を重視した作風でした。この組曲はトランペットをはじめとする管・打楽器が活躍し、とても華やかな曲で、どの楽章も短く印象的であることから、前・後半共に最初と最後にこの作品からの抜粋した曲を演奏致します。

◆楽器のお話

各楽器がフィーチャーされた曲を、それぞれの楽器の紹介を交えながら演奏することで、楽器について学びながら本格的な作品を鑑賞していただくことができます。

・A.ヴィヴァルディ:「四季」より「春」第1楽章

誰もが一度は耳にしたことのある名曲「四季」ですが、ソネット(詩)を下敷きに書かれており、随所に四季折々の描写がちりばめられています。「春」には小鳥や小川、嵐などを表現した部分があります。

・G.Ph.テレマン:ヴィオラ協奏曲 第2楽章

「ヴィオラ協奏曲」と言えばバロック期のみならずクラシック音楽全体でも、テレマンのヴィオラ協奏曲が想起されるほどの名曲です。ヴァイオリンとはまた違った音色を持つヴィオラですが、「人の声に最も近い」と言われるヴィオラの魅力を感じて頂きます。

・A.ヴィヴァルディ:チェロ・ソナタ 第2楽章

チェロとコントラバスによる二重奏(チェンバロ付き)で演奏することで、普段は縁の下の力持ちである両楽器に着目し、その魅力を感じて頂けると考え、この曲を選択しました。

・J.S.バッハ:管弦楽組曲 第3番 第2曲「エア」

各弦楽器の音色をお聴き頂いた後は、全ての弦楽器の音色が合わさるとどのような音になるのかをお聴き頂きます。

・J.S.バッハ:インヴェンション 第1番 ハ長調

チェンバロを紹介するために、ピアノを学習している児童・生徒の皆さんにも馴染みがあるであろう作品を選びました。お馴染みの曲が、楽器がピアノからチェンバロに代わることで全く違った印象になるということを実感して頂きます。

・G.Ph.テレマン:組曲 ニ長調 TWV55:D18 第4曲「パッサカイユ」

本プログラムの「軸」として選択したテレマン作曲「組曲」ニ長調から、トランペットとティンパニが華やかな第4曲を演奏することで、両楽器について学んでいただきます。

・G.F.ヘンデル:2つのオーボエとファゴットのための行進曲

・J.S.バッハ:管弦楽組曲 第1番 第7曲「パスピエ」

木管楽器の紹介を兼ねて、オーボエとファゴットが活躍するヘンデル作曲「行進曲」とバッハ作曲「管弦楽組曲 第1番」より第7曲「パスピエ」をお聴き頂きます。

・G.Ph.テレマン:四声部のための協奏曲 ト長調 第1楽章

A.ヴァルディ:リコーダー協奏曲 RV445 第3楽章(または G.Ph.テレマン:リコーダー協奏曲 ヘ長調 第2楽章)

リコーダーが「バロック時代には花形楽器であった」ということを実感していただきます。まずは室内楽で、続いて独奏楽器としてのリコーダーを聴いていただきます。小学校ではソプラノリコーダーを、中学校ではアルトリコーダーを用いた協奏曲をそれぞれ選択いたしました。両曲とも技巧を凝らした華やかなパッセージが登場し、リコーダーがヴァイオリンやトランペットにも引けを取らない楽器であったことを実感して頂けるような曲です。

◆歌のコーナー

・G.F.ヘンデル:オンブラ・マイ・フ

ヘンデルの作品群の中でも最も重要なポジションを占めるオペラから、アリアをお聴きいただきます。「人の声」がどれほど技巧的で華やかなアリアを歌うことができるのかを実感して頂ければと思います。

◆バロックダンスのコーナー～メヌエットを踊ってみよう!～

・G.F.ヘンデル:水上の音楽 第2組曲「メヌエット」

バロック時代に宮廷で踊られたメヌエットを、ヘンデルの代表作「水上の音楽」第2組曲メヌエットで踊って頂きます。

◆指揮体験コーナー

・G.F.ヘンデル:組曲 変ロ長調 HWV352 第3曲「アルマンド」

指揮のし易い二拍子であり、短いことから全曲指揮出来る作品として、この作品を選択いたしました。しかし、短いながらもフレーズの切り替わりや曲想の変化など、指揮者によって表現を変えられる部分があるので、指揮の難しさや楽しさを体感していただけます。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

バロック音楽を体感していただけるよう、5種類の体験プログラムを準備いたしました。
うち3種類は全員で体験していただくもの、2種は選抜メンバーに体験していただくものとなっております。

全員で体験していただく内容

・クイズコーナー — 「四季」にはどんな情景が描かれているのか？

ヴィヴァルディ作曲「四季」には楽譜にソネットと呼ばれる詩が併記されており、様々な情景が音によって描写されています。その一部分を取り出し、何が描写されているのかを、音からイメージしてお答えいただきます。

・バロックダンスのコーナー～メヌエットを踊ってみよう！～

(G.F.ヘンデル:水上の音楽 第2組曲 第3曲「メヌエット」)

バロック時代に実際に踊られていたメヌエットは、ステップのみのシンプルで簡単なダンスです。そのメヌエットを、楽曲に合わせて踊ってみることで、身体表現を通じて楽曲のイメージを捉え、バロック音楽の楽しさを体感して頂きます。

・共演のコーナー

普段の音楽の授業などで取り扱われている楽曲を、ピアノ伴奏ではなく室内オーケストラの伴奏で歌って頂きます。具体的な演目については、事前にご希望をお伺いし、楽譜をお送りいただき、編曲致します。特にご希望のない場合はこちらから曲を提案させて頂いております。

選抜メンバーに体験していただく内容

・ヴァイオリンの体験

(J.S.バッハ:ガヴォット ト長調)

ヴァイオリンの弓で弦を振動させ、音を出してみるという体験となっております。一番低い弦の開放弦(左手の指で押さえない音)のみで演奏可能な曲を使用し、実際にアンサンブルに加わっていただきます。

・指揮体験コーナー

(G.F.ヘンデル:組曲 変ロ長調 HWV352 第3曲「アルマンド」)

バロックの楽団を指揮するという体験をして頂きます。演目は短い二拍子の舞曲で、全曲を通して指揮していただきます。短いながらもフレーズの切り替わりや曲想の変化など、指揮者によって表現を変えられる部分があるので、指揮の難しさや楽しさを体感していただけます。

また、上記5種のほかにも吹奏楽部や弦楽部などとの共演のご希望がある場合は対応いたします。

児童生徒とのふれあい

アンコールでは、事前にお送り頂いている「校歌」をこちらで編曲し、当日の演奏会最後に会場全体で歌って頂きます。普段はピアノ伴奏で歌っているのが普通ですが、弦楽器とチェンバロで伴奏して歌うと、自分の学校の「校歌」の美しさを子供達だけでなく、先生方も再認識されます。

又、共演曲(リコーダー曲でも合唱曲でも)に関してはご希望の学校に対しては時間的に余裕があれば、演奏開始前に一緒にリハーサルを致します。一方公演後、ご希望があれば生徒との交流会(演奏を聞いた後の感想や、楽器への質問等)を持つことが可能です。勿論、時間的な制約もあるのでご相談をさせていただきます。